

今回の護岸工事の位置と作業イメージ



護岸工事の作業イメージ

構造物撤去工

既設消波ブロック撤去



潜水土により消波ブロックにワイヤーを括り付け、起重機船という作業船により撤去し、別の場所に一時的に仮置きします。

基礎工

基礎捨石投入



護岸を支える基礎マウンドを作るため、潜水土の指示のもと、ガット船という作業船により、海上から捨石(石材)を投入します。

本体工

本体ブロック据付



別の場所で製作した護岸の本体ブロックを起重機船で運搬し、潜水土の指示のもと所定の位置に据え付けます。

上部工

上部コンクリート打設



アジテータ車(生コン運搬車)とコンクリートポンプ車を起重機船に積み込み、海上運搬します。現地で護岸本体の上にコンクリートを打設します。

裏込工

裏込石投入



起重機船で本体ブロックと既設護岸との間を裏込石を投入して埋戻します。

消波工

消波ブロック据付



一時的に仮置していた消波ブロックを、潜水土の指示のもと、新しく設置した護岸の前面に設置します。

工事受注者



現場代理人：古賀 達郎
 監理技術者：牧原 剛
 TEL：099-296-8569



現場代理人：窪園 竜一
 監理技術者：松崎 一樹
 TEL：099-203-0676

発注者



九州地方整備局
 鹿児島港湾・空港整備事務所
 TEL：099-223-3296